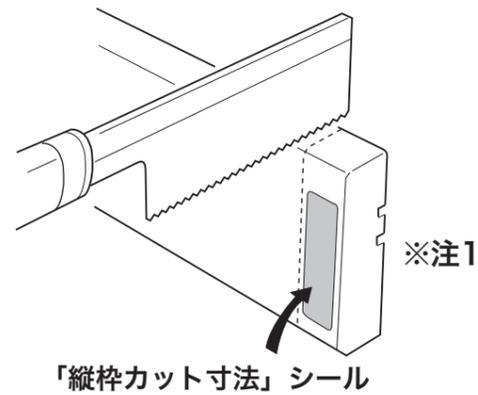




# 取付け順

## 1. 枠の組立て

- ①縦枠は、長めに設定してあります。  
「縦枠カット寸法」シールを参考に、ご希望の現場施工に合わせて下端をカットしてください。

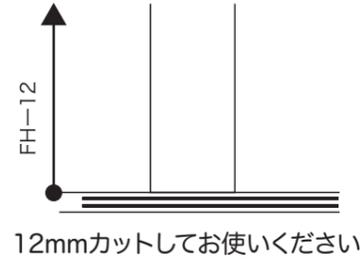


### ※注1

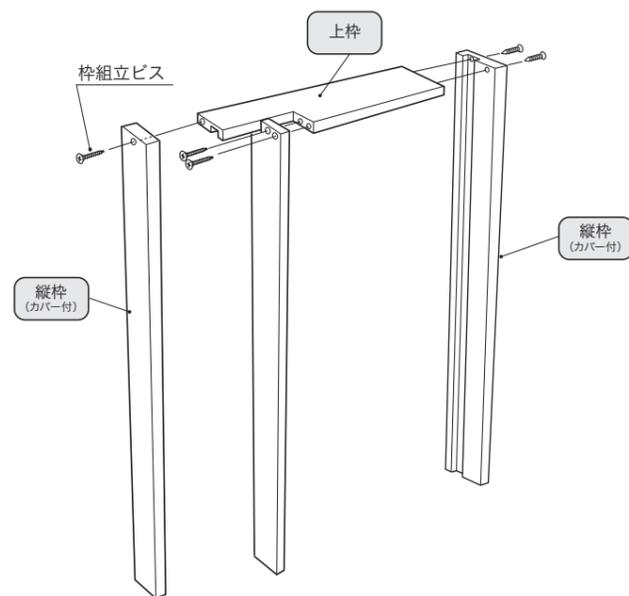
【1】12mm床埋め込みの場合



【2】フロア直置きの場合

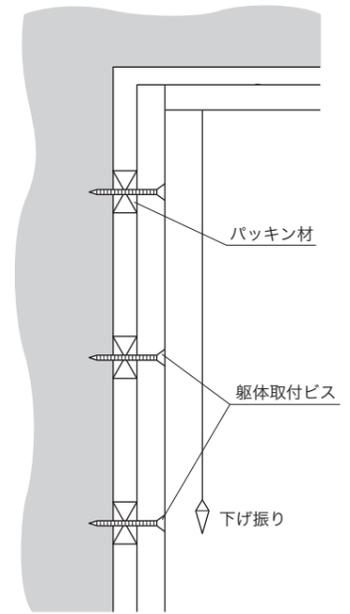


- ②縦枠及び戸当枠と上枠を、枠組立ビスで締付けてください。



## 2. 枠の取付け

- ①開口部の水平・垂直を確認してください。  
②枠を開口部に挿入し、下げ振りなどで水平・垂直を確認してください。

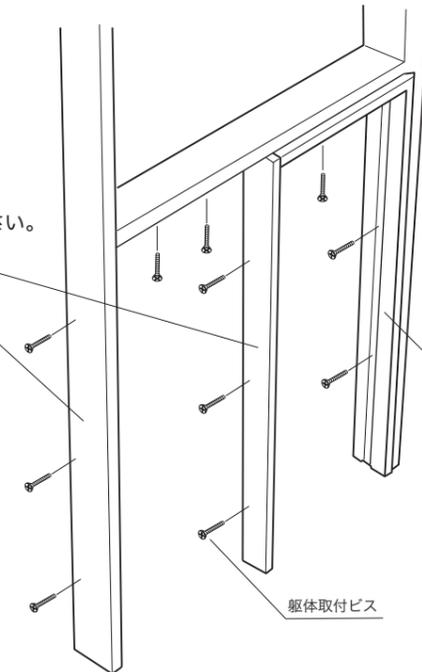


### 注意

枠の建付けを確認しながら以下の固定をしてください。

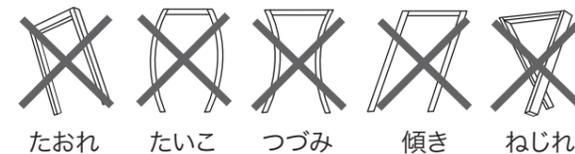
- ③上枠・縦枠・戸当枠・方立枠を躯体取り付けビスで開口部に固定してください。必要に応じてパッキン材を併用してください。

方立枠・戸当り枠は、躯体側からビス留めしてください。



縦枠は、戸決りカバーをはずし、ビス留めしてください。

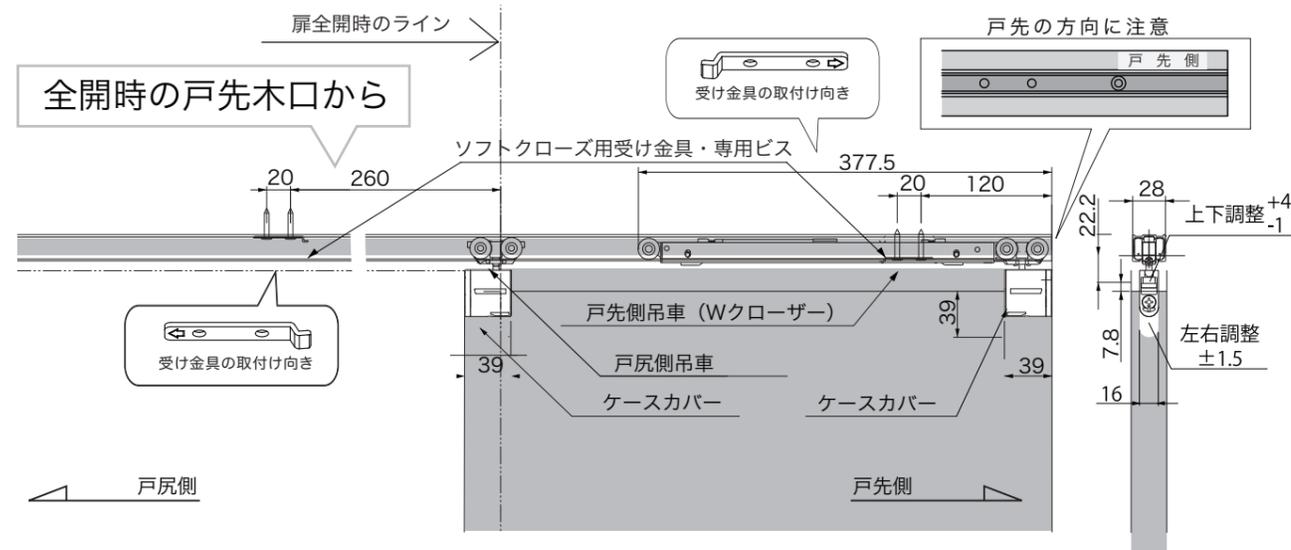
※施工後の枠が下図にならないように水平・垂直および開口寸法の確認をしてください。



### 3. レールの取付け

《Wソフトクローズ仕様納まり図》

※図は扉全閉時です

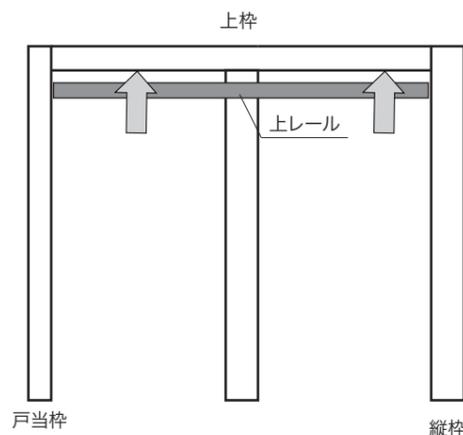
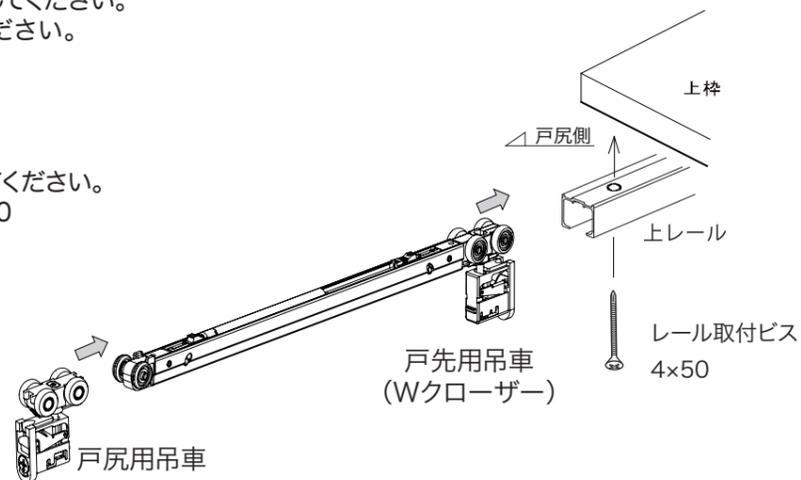


①あらかじめ、上レールに吊車を挿入してください。  
吊車の挿入する向きに注意してください。

- ◆上レール
- ◆吊車

②上レールをビスで上枠に取り付けてください。

- ◆レール取付ビス 皿ドリル、4×50



**注意** 扉の荷重でレールがはずれないよう、しっかり固定してください。

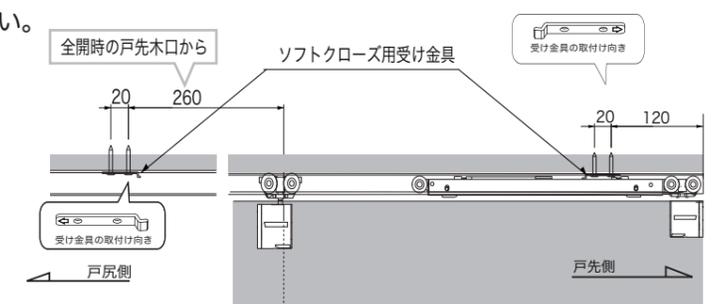
※レールのビスの頭が吊車と干渉しないことを確認してください。

※レール内にゴミやホコリが残っていると、ローラーの動きを妨げたり、異音を発生させる原因となりますのでご注意ください。

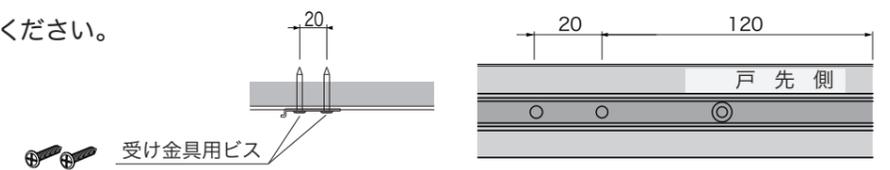
### 4. レールの取付け《続き》

③ソフトクローズ用受け金具をレールに固定してください。  
◆ソフトクローズ用受け金具

**注意** ※受け金具取付用のレールビス穴は工場であけて出荷します。  
※受け金具取付は現場でお願いします。



④穴の位置に合わせて図のようにレールの下から受け金具を取り付けてください。  
取付けには付属のビスを使用してください。



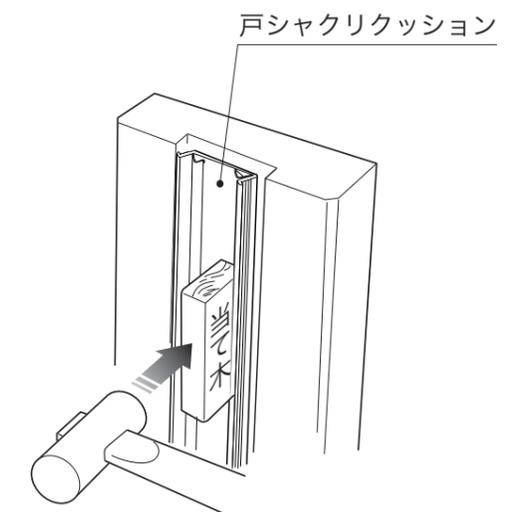
### 5. 部品の取付け

<戸シャクリカバーの取付け>

縦枠の溝に接着剤を入れ、戸シャクリカバーを挿入してください。

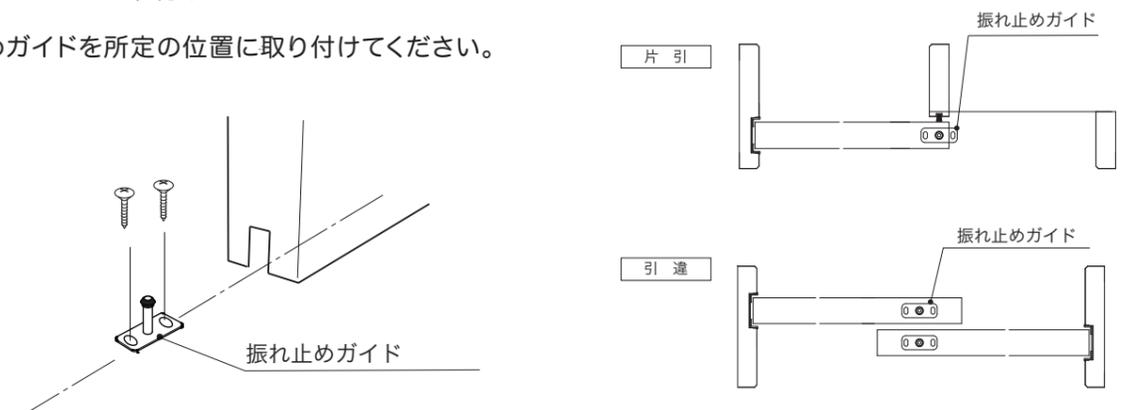
**注意** 戸シャクリカバーが浮かないように当て木などを添えてしっかり打ち込んでください。

※必要に応じて接着剤を併用してください。(現場調達)



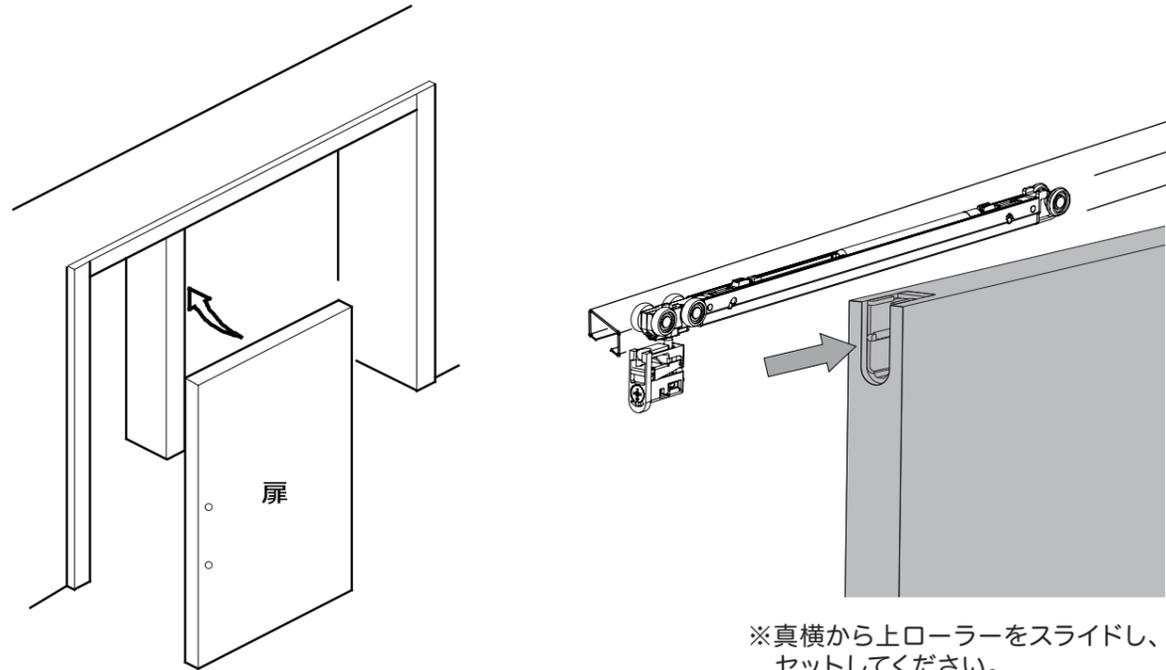
<振れ止めガイドの取付け>

振れ止めガイドを所定の位置に取り付けてください。



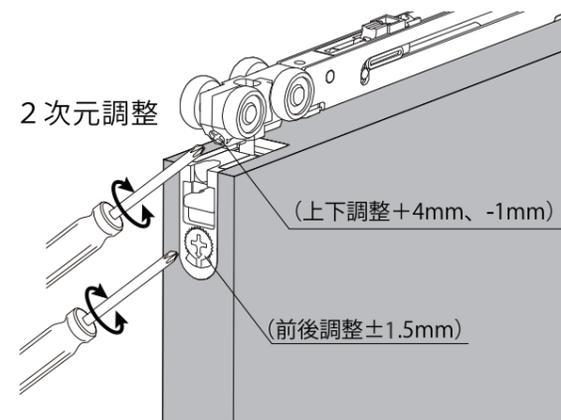
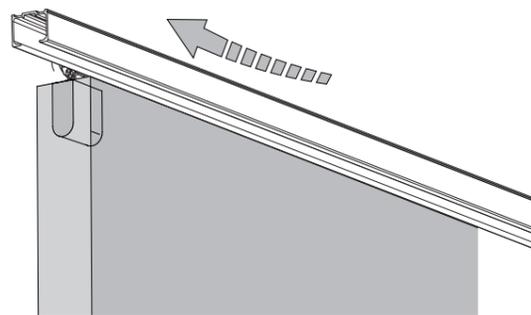
## 4. 扉の吊込み

- ①扉を吊り込んでください。  
 まず、振止ガイドに扉の下の溝を合わせてください。  
 次に、扉の側面の掘込みに吊車を「カチッ」と音がする  
 まで挿入してください。



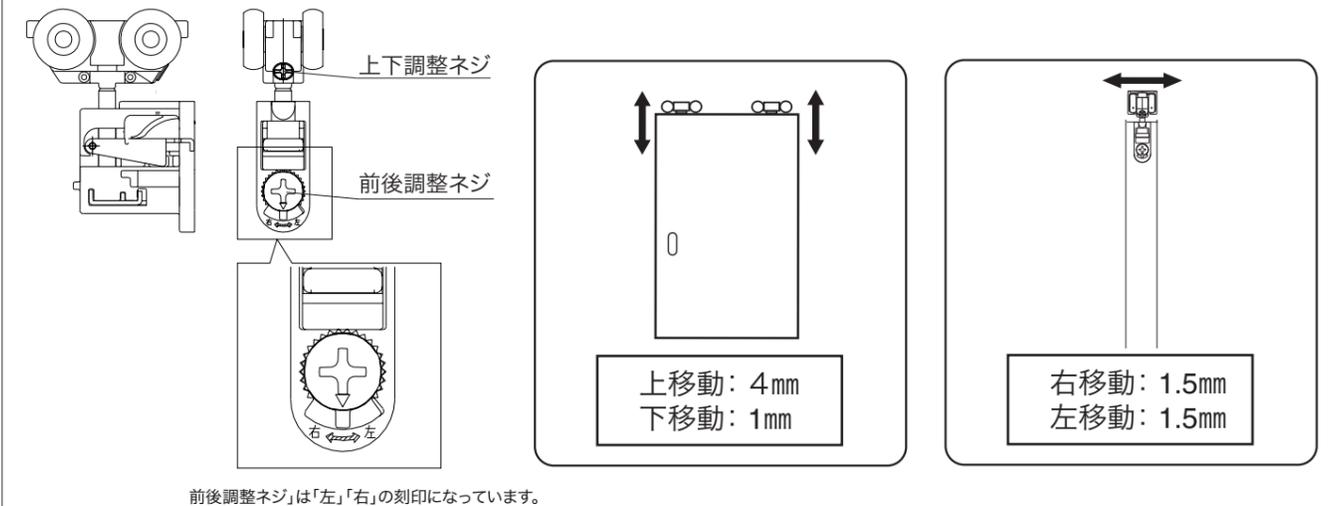
※真横から上ローラーをスライドし、  
 セットしてください。

- ②扉の吊込み後、ゆっくりと扉を閉じ、ダンパーが作動することを確認してください。  
 正常に作動しない場合は、扉をカチッというまで閉じ、再度確認してください。  
 扉の調整が必要な場合に行ってください。



## 5. 建付け調整

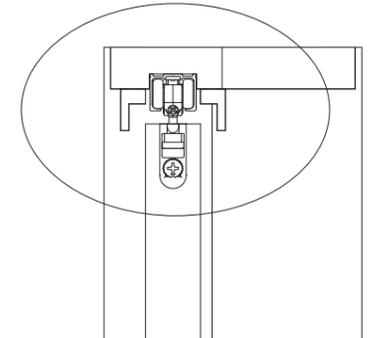
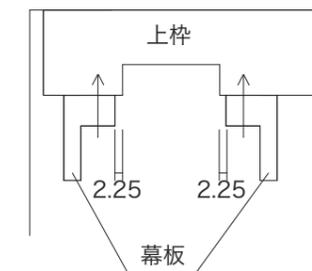
- ①吊車で、扉の上下・左右調整ができます。  
 吊車の小口からプラスドライバー  
 で建付け調整ができます。



**注意** 調整範囲以上回さないでください。破損の原因となります。

## 6. 幕板の取付け

- ①幕板を取り付けて施工完了です。  
 付属のビスをご使用ください。



## 施工終了後の確認

施工が完了しましたら、下記の点について確認してください。

- ◆すべての部品が取付けられているか、また間違った取付けがされていないか確認してください。
- ◆取付けネジが所定の位置に取付けられているか確認してください。
- ◆ネジのゆるみや枠のガタツキがないか確認してください。
- ◆ドア本体の開閉がスムーズに行えるか、施工上の不具合がないか再度確認してください。

※取付けが完了しましたら、扉が他の現場工事によって破損しないように「養生マット」をご利用ください。  
 ※ダンボールはリサイクル品です。地球環境保護のため、回収業者に引き取っていただくようご協力をお願いいたします。

<お手入れ方法>

- お手入れは、うすめた中性洗剤で汚れをおとし、乾いたやわらかい布で軽く拭いてください。
- シンナーなどの溶剤や強い洗剤を使用しないでください。
- ペンキ・グリース・油・パテなどが付着した場合は、速やかに拭き取ってください。